

「三井ショッピングパーク ららぽーと沼津」への地下水熱交換システム導入

- 令和元年 10 月 4 日にオープンしたショッピングセンター「三井ショッピングパーク ららぽーと沼津」（沼津市東椎路字東荒 301 番地 3）に、地下水を活用した熱交換システムが導入されました！
- 三井不動産株式会社が、敷地内で自噴していた地下水を有効利用しようと、施設 2 階にあるベビー休憩室「こにわハウス」（約 40 坪の広さ）にシステム（22kW）を導入しました。
- 冬は暖房、夏は冷房に地下水熱が活用されます。
- 沼津市を含む県東部地域は、富士山や愛鷹山に降った雪や雨を源とする地下水が豊富であるため、こうした地域資源を活用した取組が広がっていけばと考えています。

★ 地下水熱交換システムのメリット

- 年間を通じて温度変化が小さい（気温と比べて冬は温かく夏は冷たい）地下水の熱を活用することで、一般的な空調設備と比べ消費電力が半減する。
- 一般的な空調設備と異なり、外気に熱を放出しないため、ヒートアイランド現象の緩和につながる。

【設置場所】



施設外観



「こにわハウス」（部屋内）

【導入されたシステム】

（暖房の仕組）

- ① 地下水をポンプで汲み上げる。
 - ② 汲み上げた水から熱交換器で採熱する。
 - ③ ヒートポンプで更に温め、室内機から温かい空気を部屋へ吹き出す。
- ※ 通常の空調との違いは、採熱する元が地下水であること（通常は外気）。

